

6/19年後

内閣不信任案反対の維新・国民

岸田内閣不信任案には反対するが、岸田政権の子育て政策は「批判」するという矛盾した討論を、日本維新的会と国民民主党的議員が16日、衆院本会議で行いました。

討論で『姑息』な岸田政権批判

岸田内閣不信任案には反対するが、岸田政権の子育て政策は「批判」するという矛盾した討論を、日本維新的会と国民民主党的議員が16日、衆院本会議で行いました。議場では「(批判)でも信任」という皮肉まじりのヤジが飛びました。維新的堀場幸子氏は反対討論で、岸田政権が発表した「JSDも未来戦略方針」には「正直がつかない」と述べた。

維新、国民党は、連携

りさせられた」と述べたうえで、「付け焼き刃の政策に加えて、財源も宙に浮いている」と批判。国民の渡野哲氏は「議論が進められて、16歳から18歳の扶養控除廃止や、しかも保険なる社会保険料の上乗せは、子育て世代の負担を増やす」と少子化対策に逆行する懸念」と批判しました。

「悪政4党連合」ふたりは、「悪政4党連合」ふたりは、国民の不信が拡大しています。その姿を少しでもじまかうといふ不信任案反対討論での岸田政権批判。「姑息(じそく)」と言われても仕方ありません。(若)